

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	適切な大腸内視鏡トレーニングシステム開発に向けた内視鏡挿入困難因子の検討		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2017年3月31日		
③ 対象患者	山口大学医学部附属病院第一内科にて④の対象期間中に大腸内視鏡検査を受けた患者さん		
④ 対象期間	2011年4月1日～2014年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科		
⑦ 研究責任者	氏名	橋本 真一	所属 第一内科
⑧ 使用する資料等	患者さんの性別、年齢、身長、体重、BMI（身長と体重の比）、体脂肪率、腹囲、骨盤周囲、ウエストヒップ比（腹囲を骨盤周囲で割った値）、高血圧の有無、糖尿病の有無、高脂血症の有無、腹部手術歴の有無、結腸憩室の有無、抗血栓薬(抗血小板薬・抗凝固薬)の内服の有無、腸管洗浄度（下剤でどのくらい腸の中がきれいになっているか）について、カルテの情報をもとに情報を収集させていただきます。		
⑨ 研究の概要	<p>本研究では、大腸内視鏡検査において、内視鏡が肛門から盲腸まで到達する時間と患者さん側や施行医側の様々な要因について検討し、挿入が難しい患者さんの特徴を明らかにします。具体的には、挿入時間が平均より長い、もしくは熟練医への途中交代が必要な症例のグループと、それ以外の症例のグループとに分けて、2つのグループの間で異なる要因を検討します。</p> <p>これにより、大腸内視鏡検査の経験が浅い医師が、比較的内視鏡挿入が簡単であると予想される症例から検査をすることで、患者さんに過度の苦痛を与える事を回避することができると考えられます。</p> <p>また、挿入に時間を要すると予想される患者さんには、最初から熟練医が施行することで、検査時間の短縮にもつながる可能性があります。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2016年 2月 24日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	論文等にて公表します。			
⑬ 個人情報の保護	上記にて公表する場合、個人情報が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	第一内科の奨学寄付金を使用します。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 橋本 真一			
	電話	0836-22-2241	FAX	0836-22-2240